

学校関係者評価公表シート（令和7年度）

学校法人東粉浜幼稚園学校関係者評価委員会

○ 学校関係者評価委員会の意見

令和7年度評価委員会を令和8年3月11日に開催した。

本年度の本園の取り組みについて

・特色ある取り組み

- ・本園のよき伝統（和太鼓・生活発表会等）が守られ、子どもの成長が感じられた。工事中ではあったが、発表の場も確保されて保護者はおおいに満足している。
- ・今年度、英語の参観日を設けられ、保護者は初めて参観できた。子ども達が意欲的に取り組んでいる姿がわかり、指導の積み重ねが分かったのはよかった。
- ・園庭がない中だが、地域の会館・公園・教室を3クラスオープンにした活動などさまざまな工夫がなされていた。
- ・幼小連携が、密になされていた。子ども達も安心して小学校へいくことが出来るのでありがたい。

・安全教育について

- ・今年も、住吉警察から交通安全教室や誘拐防止の教室を実施してもらった。また、不審者侵入に対する防犯訓練も新たに実施し、いのちを守る訓練がきちんとされていた。
- ・今年度は改築工事にはいり安全面での園の気配りが感じられた。
特に、園と工事関係者の打ち合わせが密にされ、PTA会長の参加もあり事故なく、安全な園生活がおくれたことは大変よかった。
- ・昨年度に引き続き、津波の避難訓練・引き渡し名簿を実施でき、2歳児クラスの子も自力で津波階段をのぼることが出来ていた。地域の方が避難訓練で幼児の手をつないだり、見守ったりしてくださり子どもに寄り添ってくださるのは大変ありがたく、素晴らしい取り組みである。

・いのちの安全教育（文部科学省）の指導

性被害防止のいのちの安全教育が実施されていた。更に、絵本「教えてくもくん」を紙芝居として教材化。保育に生かすための研修会も実施された。

・保育内容・行事等

○体力づくり

近年体力の低下が課題となる中、今年度は工事で園庭が使えない環境であった。そこで、計画的に運動できるよう時間割を作成して確実に体力づくりに取り組む工夫をした。

- ・東粉浜公園等の遊具を使った外遊び・東粉浜会館を体育館として体育遊び
- ・毎日の昼やすみ運動場や中庭の芝生での外遊び

- その他 たこあげ、おおなわ、鉄棒、ジャングルジムなどの練習
- ・ のびのびタイムの外遊びと小学校のいきいき活動との調整をして、運動量の確保に努められていた。
 - ・ 放課後自由あそびは、室内での運動に変更して実施された。
- 保護者としては、体力作りに工夫がなされ、力を入れていることがわかった。

○行事

春開催の運動会になって特に問題はなく、楽しかったという保護者の声が多かった。

秋祭りでは、和太鼓の演奏が講堂で行われた。運動場より演奏するには室内のほうがよいと思われる今後も室内でよいのでは。

P T Aの模擬店は子ども達がとても喜んでいました。

生活発表会は、インフルエンザの流行の中だったが実施できた、前々から無理なく少しずつ指導を積み重ねてきた成果として子ども達がしっかり発表出来ていたことは、素晴らしい。子ども達の成長の姿に感動したという声がたくさん聞かれた。

作品展はホールがない中、3教室をオープンにして造形作品が並びゆったり観賞できてよかった。どの作品も個性的で、画一的でないのがすばらしい。万博をテーマにしている「、子ども達は楽しく取り組んだ。先生方から一人一人の作品への思いや取り組みの様子が聞け、一年間の子どもの歩みが分かり、うれしい感動をおぼえたとの声も多かった。

誕生日会 12月1月生まれの誕生会からホールがなくなり、どこで実施するのかと思いつながら、園に来てみると3教室の間仕切りがあげられ、広い空間に全園児が集合していた。誕生月の園児がいきいきと発表や演技をしていて、感動した。工事の中でも、変わらず、しっかり表現し、たのしく園生活を送っているように涙がでたと言う声も聞かれた。

餅つき大会今年も日本の伝統行事である餅つきを実施してもらって、喜んでいいる。杵をもって餅をつくまねをしたり、ついた餅を丸めたりする経験ができてよかった。つき手のお父さんからも、臼の用意や餅米の蒸し方を初めて知り、楽しくよい経験ができたと言う声が聞かれた。

○保健、給食

異例の11月からのインフルエンザの流行で、全学級が学級閉鎖におよぶ大流行になった。予防接種率の高い園ではあるが、予防接種の時期に入る前の流行が大きく影響したと思われる。

給食では、担任の指導により無理なく完食出来るように工夫した。

- ・ 月1回手作り家庭弁当は、子ども達にとってうれしい日で楽しみにしている。
- ・ 給食では家庭では食べないメニューがあり、保護者としてはありがたい。
長期休業中の預かり保育での給食も継続してほしい。
- ・ 給食試食会への参加が少ない。栄養士も参加している機会でもあり給食の改善に向けた意見交換の場となるので、参加者を増やすようにしたらどうか。

○子育て支援について

・地域交流イベント(6月)では、パンづくりを実施。教職員と地域の方10名が参加して親子で小麦粉からフライパンを使って焼き上げ、試食するまで取り組んだ。発酵させる時間には、お皿を折り紙で作った。おいしく焼きあがり、保護者や地域の方からも、とても楽しいイベントだったと喜ばれていた。

○その他

- ・ ホームページを一步すすめた。毎日の給食、学校評価結果公表シート等保護者アンケートを去年に引き続き実施したのはよかった。更なる、次年度への改善が期待できる。
- ・ 教職員による目標達成のための自己評価を改善し、組織的に目標達成を促す意識が育った。今後、組織的に保育内容の改善につなげたい。

※ 評価委員会のまとめ

運動会の春開催に伴い、親子競技を増やしたことや、卒園児の秋祭り招待・餅つき・地域交流イベントなど地域とのつながりを大切にしている印象を受けました。

生活発表会や和太鼓演奏、チアリーディングの各種イベント参加など子ども達の成長を感じられる場も多く確保されていることは、非常に満足しており、今後も継続していただきたい。 P T A会長 中村和晶

改築工事に伴い、保育内容や行事への制限が心配されたが、東粉浜小学校、地域の方のご協力、先生方の創意工夫で子ども達は楽しく園生活を過ごすことができた。

施工業者との密なやりとりで、安全面での細やかな配慮もされ、保護者も安心している。給食については、サイクルメニューが多く、加工食品の利用が多いこと、子ども達が好むパン食やうどんなどの麺食が無いなど、食材や調味料の選定、メニュー展開の改善が望まれる。 P T A副会長 中澤仁香